

わたしのまちは大丈夫？

財政指標って何？



奈良県マスコットキャラクター
せんтокん
©NARA pref.

あなたのまちの 財政状況



平成22(2010)年度決算

奈良県地域振興部市町村振興課

平成24年3月

目次

はじめに	1
1. 市町村財政のしくみは？	2
2. 収支（資金繰り）の健全度を測るポイントは？	4
2-1. 夫婦の給料で生活費がまかなえているか（経常収支比率）	5
2-2. 家計が赤字になっていないか（実質赤字比率） （連結実質赤字比率）	10
3. 借入れや保証の健全度を測るポイントは？	15
3-1. 毎年のローン返済が重すぎないか（実質公債費比率）	16
3-2. ローン残高や保証額は大きすぎないか（将来負担比率）	18
4. 市町村税収の状況は？	20
5. 財政状況が悪い市町村はどうなるの？	22

はじめに

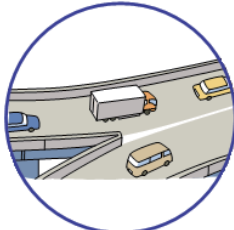
「財政」という言葉をご存知ですか？

聞きなれない言葉かもしれませんが、実はみなさんのくらしに最も関係する言葉です。市町村では、税金や借入金（地方債）等で資金を調達（歳入）し、その資金を住民の福祉や教育などのサービス、道路などの整備や地元産業の振興のために配分（歳出）していますが、この資金を調達し、配分する活動を広く「財政」と呼んでいます。お住まいの市町村で公表されている「財政状況」をみれば、どのように資金を集めて、どのように使ったか、また借入金の残高はどれくらいあるかなど、その年の「経営成績」を知ることができます。

皆さんの生活の中のいろいろな行政サービス



小・中学校の管理



道路の建設・
維持管理



保育サービス



福祉サービス



家庭ゴミの収集

財政状況を読みとくポイントは？

◆身近な視点で考える…「家計」との比較

市町村の「財政」を、皆さんにとってもっと身近な視点で考え、理解していただくために、ここでは「財政」を「家計」にたとえていますので、**家計の視点でやりくりがうまいかどうか**をみてください。

◆「成績表」を比較する…過去の成績や他の市町村との比較

お住まいの市町村の「財政状況」は、その年のいわば「成績表」ですから、過去の財政状況や他の市町村の財政状況と比べることが肝心です。ここでは、県内市町村の財政状況を比較しやすいように、重要なポイントを比率で表した「財政指標」を中心に説明していきます。

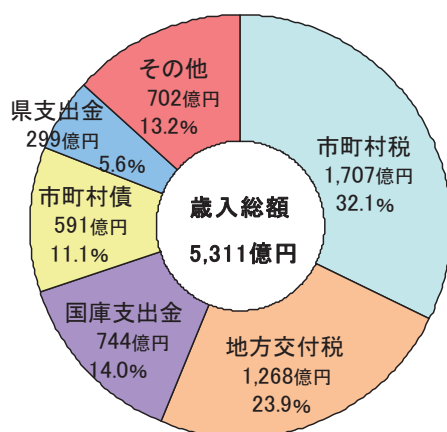
1. 市町村財政のしくみは？

一年間の収入・支出(歳入・歳出)について

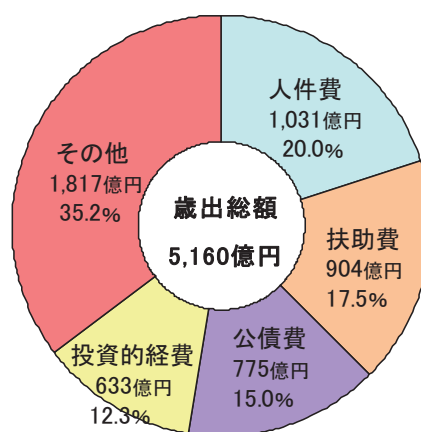
下のグラフは、平成22年度の県内39市町村の普通会計決算を合計したものです。

皆さんに納めていただく市町村税は、歳入の3割以上を占めており、貴重な財源となっています。歳出は、割合の大きい順に人件費、扶助費、公債費となっています。扶助費は生活保護や子ども、高齢者、障害者等を援助する経費をいい、近年は増加傾向にあります。公債費は過去に国や銀行等から借り入れたお金の返済のことをいいます。

収入(歳入)



支出(歳出)



市町村財政(歳入・歳出)を家計(収入・支出)にたとえると次のように考えることができます。

収入(歳入)	家 計		市町村財政(普通会計)
	給料	1. 給与 2. ボーナス 3. 手当(扶養・住宅)	市町村税 地方譲与税、各種交付金 普通交付税 } 地方交付税 特別交付税
	4. 災害見舞金(支援金)		繰入金
	5. 貯蓄の取り崩し		国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等
	6. その他臨時収入		繰越金
	7. 去年から繰り越したお金		市町村債
	8. 新たな借金		

支出(歳出)	家 計		市町村財政(普通会計)
	最低限の生活費	1. 食費 2. 医療費、光熱水費、修繕費等 3. 親や子どもへの生活費の仕送り等 4. ローン返済	人件費 扶助費、物件費、維持修繕費 補助費等、繰出金 公債費
	5. 家の購入、車の購入		普通建設 } 投資的経費 災害復旧事業費
	6. 自然災害による修繕		積立金
	7. 貯蓄の積立て		投資・出資金、貸付金
	8. 株式投資等		前年度繰上充用金
	9. 去年の支払に回したお金		

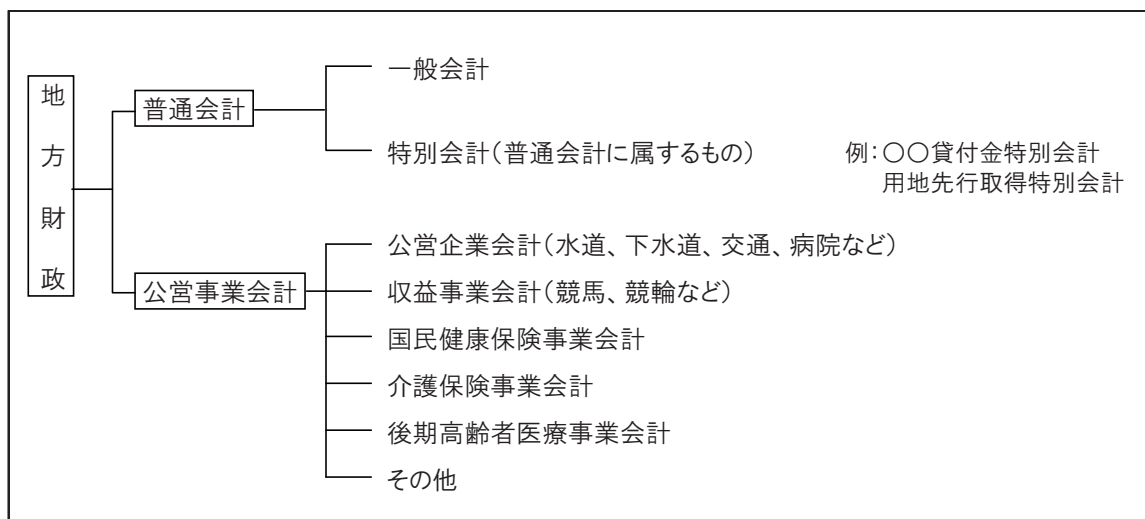
市町村の会計について

市町村では、福祉、教育、土木、上下水道、病院、国民健康保険、介護保険など様々な行政サービスを行うための経費を大きく2つの会計に分けて管理しています。

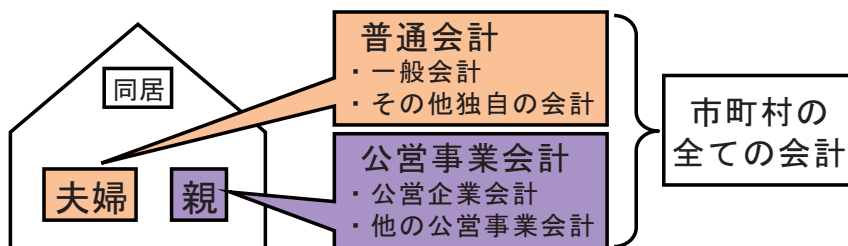
2ページのグラフは「普通会計」と呼ばれる会計の決算で、福祉、教育、土木、衛生など、市町村の基本的な施策を行う会計である「一般会計」と、特定の事業を行う場合に、条例により一般会計と区分して経理する「特別会計」から成ります。

また、上下水道、病院のように採算性のある事業や、国民健康保険事業などに適用される「公営事業会計」と呼ばれる会計があります。

会計の区分



市町村の会計を、家計にたとえると次のように考えることができます。



2. 収支(資金繰り)の健全度を測るポイントは？

家計と同じく、市町村財政でも健全度を測るためには、収支(資金繰り)と借入れに注目することが重要です。まず、収支(資金繰り)では、①給料(経常的収入)で生活費(経常的支出)がまかなえているか、②会計が赤字になっているかが重要です。

そこで、財政規模や会計制度が市町村ごとに異なりますので、基本的収入である夫婦の給料(経常的収入)を基準にした「財政指標」で表すことで、比較がしやすくなります。

収支の健全度を測るポイント！

市町村の各会計の決算額をみてもわかりづらい要因は…

- ・ 財政規模の大小（例：奈良市と野迫川村）
- ・ 会計区分のバラツキ（例：市町村独自の特別会計）
- ・ 地域のニーズに応じた支出の重点化（例：福祉・道路・教育等）

そこで

財政指標①②を活用する

- ・ 財政規模や支出のバラツキがなくなる
- ・ 全市町村の会計区分が統一される

①給料で生活費が
まかなえているか

経常収支比率
(夫婦)

P5～9へ

②赤字になって
いないか

実質赤字比率
(夫婦)

連結実質赤字比率
(夫婦と親)

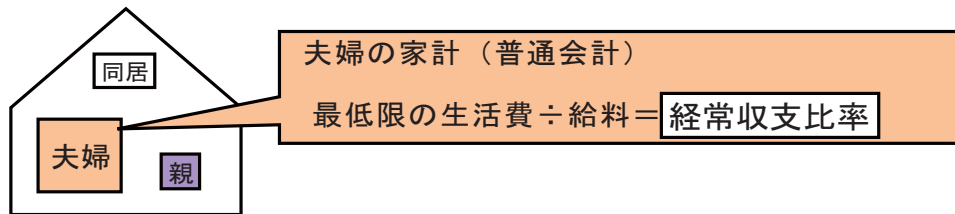
P10～14へ

各財政指標の健全度を健康状態であらわすと

財政指標	健全 ← → 破たん			
健康状態	健康 自己管理	要治療	重症 入院治療	重篤 緊急集中治療
経常収支比率		89.2%	100.0%	
実質赤字比率	0.0%	11.25%～15.00%	20.00%	
連結実質赤字比率	0.0%	16.25%～20.00%	35.00%	

2-1. 夫婦の給料で生活費がまかなえているか(経常収支比率)

夫婦の家計(普通会計)が給料(経常的収入)で最低限の生活費(経常的支出)をまかなえているかをみるための財政指標が「経常収支比率」です。この比率が100%を超えると臨時収入や貯蓄の取り崩しが必要な状況であることがわかります。



収入(歳入)	家計		市町村財政(普通会計)	経常収支比率	実質赤字比率
	給料	1. 給与 2. ボーナス 3. 手当(扶養・住宅)	市町村税 地方譲与税、各種交付金 普通交付税		
		4. 災害見舞金(支援金) 5. 貯蓄の取り崩し 6. その他臨時収入 7. 去年から繰り越したお金 8. 新たな借金	特別交付税 繰入金 国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等 繰越金 市町村債	経常的収入	総収入額
支出(歳出)	家計		市町村財政(普通会計)	経常的支出	総支出額
	最低限の生活費	1. 食費 2. 医療費、光熱水費、修繕費等 3. 親や子どもへの生活費の仕送り等 4. ローンの返済	人件費 扶助費、物件費、維持修繕費 補助費等、繰出金 公債費		
		5. 家の購入、車の購入 6. 自然災害による修繕 7. 貯蓄の積立て 8. 株式投資等 9. 去年の支払に回したお金	普通建設 災害復旧事業費 積立金 投資・出資金、貸付金 前年度繰上充用金		

経常収支比率が100%を超えると重症です

指数100%	
健康 ←	→ 重症
指標が100を下回るほど	指標が100を上回るほど
生活にゆとりがある (行政サービスが充実)	生活を切りつめる (行政サービスが縮小)
車等の購入がしやすい (普通建設の拡充)	車等の購入を見送る (普通建設の縮小)
貯蓄がしやすい 無理な借入れをしなくてもよい (基金残高の増、借入残高の減)	貯蓄を取り崩す 借入れをする必要が生じる (基金残高の減、借入残高の増)

県内市町村の経常収支比率の状況

県内市町村平均 92.2%（全国平均89.2%）

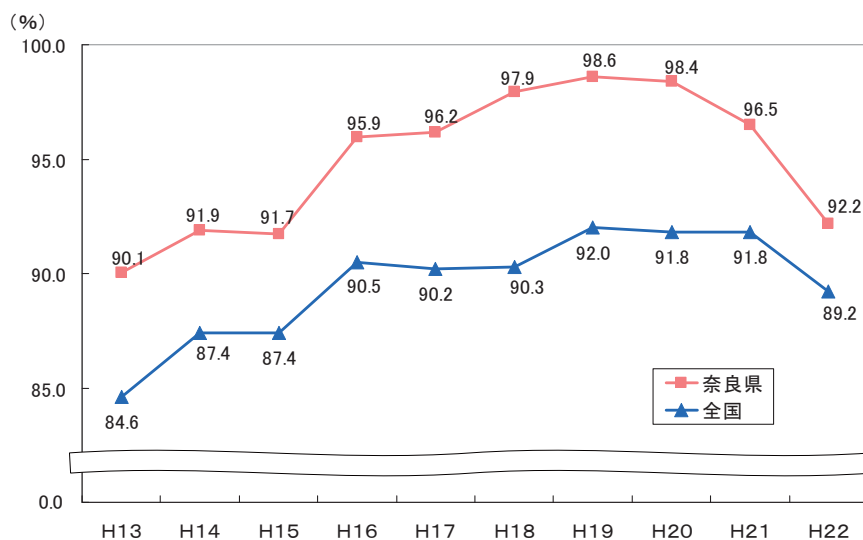
- ・全国ワースト第4位（7年ぶりに全国ワースト3から脱却）
- ・対前年度比 △4.3ポイント改善（3年連続改善・全国ベスト第8位の改善）

県内各市町村では職員定数の削減、給与カットや市町村税の徴収強化などに取り組んでいますが、経常収支比率の県内市町村平均（加重平均）は全国平均を大きく上回っており、平成18～20年度決算では3年連続全国ワースト1位となりました。しかし、平成21年度決算では対前年度比で△1.9ポイント改善（全国ベスト第6位の改善）し、4年ぶりに全国ワースト1位から脱却、平成22年度決算では対前年度比で△4.3ポイント改善（全国ベスト第8位の改善）し、7年ぶりに全国ワースト3から脱却しました。

しかし、依然として人件費や公債費の比率が全国平均を上回っていることから、県内市町村ではより一層の行財政改革に取り組んでいます。

経常収支比率の推移（全国平均との比較）

奈良県平均は、常に全国平均を上回る状況です。しかし、その差は近年縮小しています。



経常収支比率の都道府県別(市町村平均)ワースト順位

(単位：％、位)

順位	H18年度	順位	H19年度	順位	H20年度	順位	H21年度	順位	H22年度	H22-H21 比率の増減
1	奈良県 97.9	1	奈良県 98.6	1	奈良県 98.4	1	大阪府 98.5	1	大阪府 96.4	△ 2.1
2	大阪府 97.2	2	大阪府 98.5	2	大阪府 97.7	2	奈良県 96.5	2	京都府 94.5	± 0.0
3	和歌山県 96.1	3	和歌山県 97.2	3	京都府 95.7	3	神奈川県 95.0	3	神奈川県 94.4	△ 0.6
4	京都府 94.0	4	京都府 96.2	4	群馬県 95.3	4	福岡県 94.8	4	奈良県 92.2	△ 4.3
5	佐賀県 93.9	5	広島県 95.8	4	福岡県 95.3	5	京都府 94.5	5	広島県 91.9	△ 2.6
6	島根県 93.5	6	福岡県 95.6	6	兵庫県 94.9	5	兵庫県 94.5	5	福岡県 91.9	△ 2.9
6	広島県 93.5	7	兵庫県 95.3	7	大分県 94.4	5	広島県 94.5	7	兵庫県 91.8	△ 2.7
6	高知県 93.5	8	大分県 94.8	8	和歌山県 94.3	8	群馬県 94.2	8	東京都 90.8	△ 0.4
9	群馬県 93.1	9	宮城県 94.6	8	山口県 94.3	9	山口県 94.0	9	宮城県 90.6	△ 2.6
9	兵庫県 93.1	9	群馬県 94.6	10	広島県 93.8	10	和歌山県 93.5	10	千葉県 90.5	△ 1.9
11	石川県 92.9	11	高知県 94.2	11	宮城県 93.7	11	宮城県 93.2	11	愛知県 90.2	△ 0.1
11	福岡県 92.9	12	鹿児島県 94.1	12	鹿児島県 93.5	12	千葉県 92.4	12	山口県 90.0	△ 4.0
13	秋田県 92.7	13	長崎県 94.0	13	神奈川県 93.1	12	石川県 92.4	13	石川県 89.9	△ 2.5
13	鹿児島県 92.7	14	秋田県 93.9	14	佐賀県 92.7	14	大分県 92.2	14	大分県 89.4	△ 2.8
15	長崎県 92.6	14	山口県 93.9	15	石川県 92.6	15	青森県 91.4	15	和歌山県 89.1	△ 4.4
16	大分県 92.5	16	佐賀県 93.6	16	熊本県 92.3	16	鹿児島県 91.3	16	栃木県 89.0	△ 0.7
17	宮城県 92.3	17	青森県 93.4	17	秋田県 92.2	17	北海道 91.2	17	群馬県 88.4	△ 5.8
17	岡山県 92.3	17	山形県 93.4	17	岡山県 92.2	17	東京都 91.2	18	島根県 88.1	△ 2.8
19	青森県 92.2	17	島根県 93.4	17	長崎県 92.2	19	山形県 91.1	19	埼玉県 87.8	△ 2.5
20	山形県 92.0	17	岡山県 93.4	20	北海道 92.1	20	宮崎県 91.0	20	青森県 87.7	△ 3.7
20	熊本県 92.0	21	熊本県 93.3	20	山形県 92.1	21	島根県 90.9	21	北海道 87.5	△ 3.7
22	山口県 91.4	22	石川県 92.9	20	高知県 92.1	22	滋賀県 90.8	21	秋田県 87.5	△ 2.6
23	北海道 91.1	22	宮崎県 92.9	20	宮崎県 92.1	22	長崎県 90.8	21	長崎県 87.5	△ 3.3
23	滋賀県 91.1	24	神奈川県 92.6	24	青森県 92.0	22	熊本県 90.8	24	新潟県 87.4	△ 2.0
25	徳島県 91.0	25	千葉県 92.1	25	千葉県 91.7	25	高知県 90.5	24	福井県 87.4	△ 2.9
26	宮崎県 90.3	26	北海道 92.0	25	東京都 91.7	25	佐賀県 90.5	24	佐賀県 87.4	△ 3.1
27	岩手県 90.2	27	徳島県 91.9	27	島根県 91.6	27	埼玉県 90.3	24	宮崎県 87.4	△ 3.6
28	千葉県 90.1	28	東京都 91.3	28	福井県 90.7	27	福井県 90.3	28	山形県 87.1	△ 4.0
29	鳥取県 89.8	28	新潟県 91.3	29	徳島県 90.6	27	愛知県 90.3	29	三重県 86.9	△ 1.7
30	茨城県 89.7	30	岩手県 90.9	30	茨城県 90.2	30	岡山県 90.2	29	熊本県 86.9	△ 3.9
31	沖縄県 89.5	31	香川県 90.8	30	滋賀県 90.2	31	秋田県 90.1	31	茨城県 86.8	△ 2.7
32	神奈川県 88.9	32	沖縄県 90.4	32	岩手県 89.8	32	徳島県 89.9	31	高知県 86.8	△ 3.7
32	香川県 88.9	33	富山県 89.9	32	新潟県 89.8	33	栃木県 89.7	33	鹿児島県 86.7	△ 4.6
34	東京都 88.7	34	茨城県 89.8	34	埼玉県 89.6	34	茨城県 89.5	34	岡山県 86.5	△ 3.7
34	愛媛県 88.7	34	滋賀県 89.8	35	鳥取県 89.4	35	新潟県 89.4	35	滋賀県 85.8	△ 5.0
36	新潟県 88.5	34	鳥取県 89.8	36	沖縄県 89.0	36	鳥取県 89.0	36	鳥取県 85.5	△ 3.5
37	福井県 88.4	37	福井県 89.5	37	富山県 88.9	37	岩手県 88.6	37	富山県 84.7	△ 2.8
38	福島県 87.9	38	愛媛県 89.1	38	三重県 88.7	37	三重県 88.6	37	徳島県 84.7	△ 5.2
39	三重県 87.8	39	福島県 89.0	38	愛媛県 88.7	39	愛媛県 88.4	37	香川県 84.7	△ 2.4
40	栃木県 86.8	40	三重県 88.9	40	香川県 88.5	39	沖縄県 88.4	40	沖縄県 84.5	△ 3.9
40	埼玉県 86.8	41	栃木県 88.7	41	福島県 88.4	41	福島県 87.7	41	愛媛県 84.4	△ 4.0
42	富山県 86.7	42	埼玉県 88.5	41	栃木県 88.4	42	富山県 87.5	42	静岡県 84.3	△ 1.4
43	岐阜県 85.2	43	長野県 87.8	43	岐阜県 87.9	43	岐阜県 87.3	43	岩手県 84.0	△ 4.6
44	山梨県 83.9	44	岐阜県 87.1	44	長野県 87.6	44	香川県 87.1	43	岐阜県 84.0	△ 3.3
45	長野県 83.7	45	愛知県 84.9	45	愛知県 86.0	45	長野県 86.6	45	福島県 82.9	△ 4.8
46	愛知県 83.5	46	山梨県 84.5	46	静岡県 85.3	46	山梨県 85.9	46	山梨県 82.7	△ 3.2
47	静岡県 81.4	47	静岡県 84.0	47	山梨県 84.8	47	静岡県 85.7	46	長野県 82.7	△ 3.9
	全国平均 90.3		全国平均 92.0		全国平均 91.8		全国平均 91.8		全国平均 89.2	△ 2.6

県内市町村の経常収支比率のワースト順位

(単位：％、位)

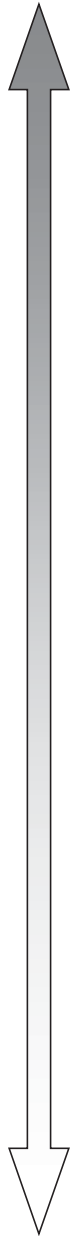
健康状態	県内 順位	市町村名	22年度		21年度		対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	
要治療 全国平均 以上	1	桜井市	97.8	1,725	102.3	1,741	△ 4.5
	2	天理市	96.6	1,705	98.5	1,671	△ 1.9
	3	奈良市	95.8	1,688	98.8	1,685	△ 3.0
	4	大和高田市	95.2	1,667	101.2	1,734	△ 6.0
	5	河合町	95.1	1,661	101.0	1,729	△ 5.9
	6	御所市	94.4	1,641	101.1	1,731	△ 6.7
	6	三宅町	94.4	1,641	101.6	1,739	△ 7.2
	8	橿原市	94.3	1,636	99.6	1,703	△ 5.3
	9	宇陀市	94.2	1,632	99.5	1,700	△ 5.3
	10	下北山村	94.0	1,627	96.3	1,579	△ 2.3
	11	平群町	92.9	1,579	92.3	1,279	0.6
	12	安堵町	92.8	1,575	98.7	1,679	△ 5.9
	13	黒滝村	92.4	1,552	98.9	1,689	△ 6.5
	14	川西町	92.1	1,538	97.9	1,647	△ 5.8
	15	曾爾村	92.0	1,529	100.1	1,717	△ 8.1
	16	下市町	91.7	1,514	95.0	1,509	△ 3.3
	17	王寺町	91.5	1,501	99.0	1,690	△ 7.5
	18	斑鳩町	91.3	1,491	92.7	1,318	△ 1.4
	18	明日香村	91.3	1,491	92.3	1,279	△ 1.0
	20	三郷町	90.9	1,463	87.3	665	3.6
	21	広陵町	90.3	1,406	94.0	1,431	△ 3.7
	22	生駒市	90.2	1,397	95.5	1,535	△ 5.3
	23	山添村	89.9	1,382	95.4	1,528	△ 5.5
	24	香芝市	89.4	1,340	92.4	1,293	△ 3.0
	24	上牧町	89.4	1,340	95.2	1,518	△ 5.8
健康 全国平均 以下	26	吉野町	88.8	1,283	92.0	1,247	△ 3.2
	27	御杖村	88.2	1,200	89.4	914	△ 1.2
	28	大和郡山市	88.0	1,178	94.4	1,464	△ 6.4
	29	田原本町	87.9	1,167	94.0	1,431	△ 6.1
	30	野迫川村	87.5	1,108	87.5	693	0.0
	31	上北山村	87.0	1,044	85.5	479	1.5
	32	東吉野村	86.4	969	93.1	1,357	△ 6.7
	33	五條市	86.3	958	92.5	1,303	△ 6.2
	33	高取町	86.3	958	91.1	1,134	△ 4.8
	35	川上村	85.0	806	86.6	574	△ 1.6
	36	天川村	84.9	796	87.7	711	△ 2.8
	37	大淀町	83.8	674	89.6	943	△ 5.8
	38	葛城市	82.6	566	87.3	665	△ 4.7
	39	十津川村	79.4	295	79.4	153	0.0
全国平均・市区町村数			89.2	1,750	91.8	1,750	△ 2.6

(注) 全国平均は加重平均であり、特別区は含まれていません。

県内市町村の経常収支比率の推移(H18~22)

(単位：%)

要改善



良好

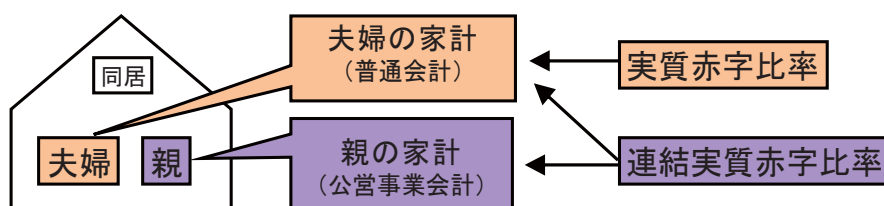
健康状態	18年度		19年度		20年度		21年度		22年度						
重症 100% 以上	三宅町	113.0	黒滝村	111.1	黒滝村	108.0	桜井市	102.3	桜井市	97.8					
	黒滝村	109.4	桜井市	106.8	天理市	107.5	三宅町	101.6	天理市	96.6					
	宇陀市	107.0	御所市	106.2	御所市	106.5	大和高田市	101.2	奈良市	95.8					
	天理市	106.3	天理市	106.0	桜井市	105.8	御所市	101.1	大和高田市	95.2					
	曾爾村	105.9	三宅町	105.0	三宅町	102.6	河合町	101.0	河合町	95.1					
	川西町	105.8	宇陀市	104.7	曾爾村	102.6	曾爾村	100.1	御所市	94.4					
	大和高田市	105.7	川西町	103.3	宇陀市	102.3	橿原市	99.6	三宅町	94.4					
	御所市	105.6	曾爾村	103.3	川西町	102.1	宇陀市	99.5	橿原市	94.3					
	五條市	104.8	五條市	102.1	大和高田市	102.0	王寺町	99.0	宇陀市	94.2					
	桜井市	104.1	高取町	102.0	五條市	101.8	黒滝村	98.9	下北山村	94.0					
	高取町	103.5	大和高田市	101.9	河合町	100.8	奈良市	98.8	平群町	92.9					
	安堵町	102.7	上牧町	100.5	奈良市	99.6	安堵町	98.7	安堵町	92.8					
	上牧町	101.3	河合町	100.4	橿原市	99.4	天理市	98.5	黒滝村	92.4					
	明日香村	101.2	明日香村	100.2	上牧町	98.8	川西町	97.9	川西町	92.1					
	下市町	100.9	東吉野村	99.9	下市町	98.7	下北山村	96.3	曾爾村	92.0					
	下北山村	100.0	下市町	99.3	下北山村	98.3	生駒市	95.5	下市町	91.7					
要治療 全国平均 以上	上北山村	99.9	平群町	99.2	東吉野村	97.7	山添村	95.4	王寺町	91.5					
	東吉野村	99.9	橿原市	98.7	安堵町	97.6	上牧町	95.2	斑鳩町	91.3					
	御杖村	99.0	生駒市	98.7	高取町	96.7	下市町	95.0	明日香村	91.3					
	河合町	98.7	奈良市	98.4	広陵町	96.5	大和郡山市	94.4	三郷町	90.9					
	生駒市	98.0	安堵町	98.4	生駒市	96.4	田原本町	94.0	広陵町	90.3					
	山添村	98.0	吉野町	98.4	明日香村	96.1	広陵町	94.0	生駒市	90.2					
	大和郡山市	96.9	山添村	98.0	平群町	96.0	東吉野村	93.1	山添村	89.9					
	大淀町	96.9	大淀町	97.7	御杖村	95.8	斑鳩町	92.7	香芝市	89.4					
	吉野町	96.4	野迫川村	96.9	山添村	94.6	五條市	92.5	上牧町	89.4					
	橿原市	95.8	下北山村	96.5	大和郡山市	94.3	香芝市	92.4	吉野町	88.8					
	平群町	95.5	広陵町	96.4	斑鳩町	94.0	平群町	92.3	御杖村	88.2					
	広陵町	95.2	御杖村	96.1	田原本町	93.6	明日香村	92.3	大和郡山市	88.0					
	奈良市	94.9	上北山村	95.9	吉野町	93.2	吉野町	92.0	田原本町	87.9					
	斑鳩町	93.1	天川村	95.7	三郷町	93.1	高取町	91.1	野迫川村	87.5					
	葛城市	92.4	大和郡山市	94.5	王寺町	92.7	大淀町	89.6	上北山村	87.0					
	天川村	92.3	三郷町	94.2	大淀町	92.6	御杖村	89.4	東吉野村	86.4					
	川上村	91.8	田原本町	93.4	天川村	92.1	天川村	87.7	五條市	86.3					
	三郷町	91.4	斑鳩町	92.3	上北山村	91.5	野迫川村	87.5	高取町	86.3					
	王寺町	91.3	王寺町	91.0	野迫川村	91.3	葛城市	87.3	川上村	85.0					
	野迫川村	91.1	十津川村	90.4	葛城市	91.2	三郷町	87.3	天川村	84.9					
	十津川村	90.5	香芝市	90.3	香芝市	91.0	川上村	86.6	大淀町	83.8					
健康 全国平均 以下	田原本町	89.8	川上村	90.3	川上村	87.6	上北山村	85.5	葛城市	82.6					
	香芝市	89.2	葛城市	86.7	十津川村	83.2	十津川村	79.4	十津川村	79.4					
県平均		97.9		県平均		98.6		県平均		98.4		県平均		96.5	
全国平均		90.3		全国平均		92.0		全国平均		91.8		全国平均		91.8	

2-2. 家計が赤字になっていないか

(実質赤字比率)

(連結実質赤字比率)

赤字については、「①夫婦の家計(普通会計)」と「②家族全体の家計(夫婦の家計と同居する親の家計の合算(普通会計+公営事業会計))」とで調べる
ことが大切です。夫婦の家計が大丈夫でも、家族全体では大変なことになって
いるかもしれません。この場合は、赤字の大きさがわかる実質赤字比率(夫婦
の赤字=普通会計)と、連結実質赤字比率(家族の赤字=普通会計+公営
事業会計)をそれぞれ他の家族(市町村)の比率と比較すれば、家計の赤字
が深刻な状況になっているかがわかります。



①夫婦の家計の状況を調べるには?・・・実質赤字比率

夫婦の家計の赤字の大きさ
(実質赤字比率)

= 夫婦の家計 ÷ 夫婦の給料
(総収入-総支出) ÷ (標準財政規模)

収入(歳入)	家計		市町村財政(普通会計)	経常収支比率	実質赤字比率
	給料	1. 給与 2. ボーナス 3. 手当(扶養・住宅)	市町村税 地方譲与税、各種交付金 普通交付税		
		4. 災害見舞金(支援金)	特別交付税		
		5. 貯蓄の取り崩し	繰入金		
		6. その他臨時収入	国・県支出金、使用料、 手数料、諸収入等		
		7. 去年から繰り越したお金	繰越金		
		8. 新たな借金	市町村債		
				経常的収入	総収入
支出(歳出)	家計		市町村財政(普通会計)	経常収支比率	実質赤字比率
	最低限の生活費	1. 食費 2. 医療費、光熱水費、 修繕費等 3. 親や子どもへの 生活費の仕送り等 4. ローンの返済	人件費 扶助費、物件費、 維持修繕費 補助費等、繰出金 公債費		
		5. 家の購入、車の購入	普通建設		
		6. 自然災害による修繕	災害復旧事業費		
		7. 貯蓄の積立て	積立金		
		8. 株式投資等	投資・出資金、貸付金		
		9. 去年の支払に回したお金	前年度繰上充用金		
				経常的支出	総支出

県内市町村の実質赤字比率の状況

赤字市町村数は3団体（全国は8団体）

平成22年度決算では、**県内の市町村のうち、3団体（②5団体）**が赤字でした。全国には1,746の市区町村がありますが、そのうち**赤字決算になった市区町村は8団体（②13団体）**でした。県内の赤字団体数は全国ワースト1位となっています。

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「実質赤字比率」

平成22年度決算では、重症（早期健全化基準※以上）になった団体はありません（P12）。

※財政健全化法に定める基準で、一定割合を超すと「財政健全化計画」を策定することになります。

●県内の赤字市町村…3団体 ②5団体（全国：8団体 ②13団体）

御所市、大和郡山市、大和高田市

○市町村別の赤字決算連続年数

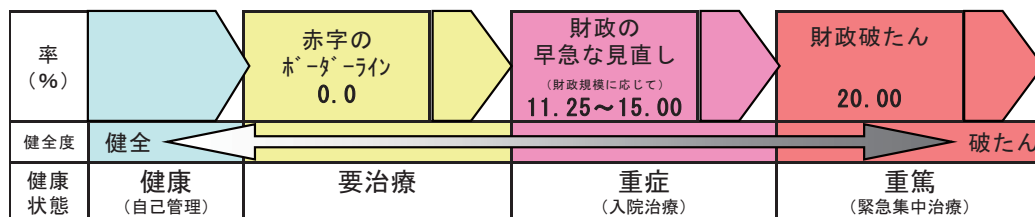
- ・40年連続…御所市
- ・7年連続…大和郡山市
- ・10年連続…大和高田市

○平成21年度決算において赤字であった桜井市、平群町は、22年度決算でそれぞれ4年ぶり、7年ぶりに累積赤字を解消しました。

○県内の多くの市町村では、それぞれ行財政改革に取り組んでおり、徴収率の改善や職員数の削減に努めています。

○御所市は平成20年度決算において早期健全化基準以上（重症）となったことから、法律に基づき、財政健全化計画（期間：H21～H25）を策定し、累積赤字の解消等に向けた財政の健全化に取り組んでいます。

実質赤字比率を健康状態であらわすと



早期健全化基準

県内市町村の実質赤字比率のワースト順位

(単位：％、位)

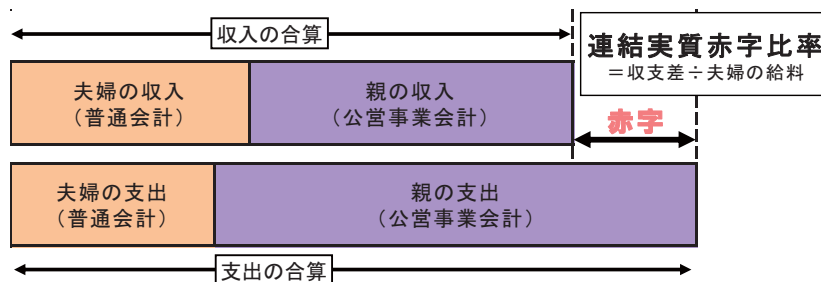
健康状態	県内 順位	市町村名	22年度		21年度	対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	早期健全化 基準	比率(B)	
要治療 赤字	1	御 所 市	1.82	13.74	10.31	△ 8.5
	2	大 和 郡 山 市	1.43	12.57	3.71	△ 2.3
	3	大 和 高 田 市	0.33	12.84	5.62	△ 5.3
健康 黒字	4	桜 井 市	△ 0.00	13.02	4.69	△ 4.7
	5	奈 良 市	△ 0.10	11.25	△ 0.11	0.0
	6	平 群 町	△ 1.90	15.00	3.84	△ 5.7
	7	橿 原 市	△ 2.17	12.23	△ 0.79	△ 1.4
	8	香 芝 市	△ 2.32	12.84	△ 1.16	△ 1.2
	9	川 西 町	△ 2.52	15.00	△ 2.43	△ 0.1
	10	上 牧 町	△ 2.73	14.87	△ 1.52	△ 1.2
	11	河 合 町	△ 2.92	15.00	△ 0.54	△ 2.4
	12	宇 陀 市	△ 3.14	12.94	△ 2.46	△ 0.7
	13	王 寺 町	△ 3.37	14.98	△ 2.77	△ 0.6
	14	下 北 山 村	△ 4.06	15.00	△ 3.71	△ 0.4
	15	大 淀 町	△ 4.43	15.00	△ 4.59	0.2
	16	三 宅 町	△ 5.50	15.00	△ 3.28	△ 2.2
	17	生 駒 市	△ 5.81	12.34	△ 1.18	△ 4.6
	18	山 添 村	△ 5.95	15.00	△ 7.72	1.8
	19	十 津 川 村	△ 6.24	15.00	△ 7.43	1.2
	20	天 理 市	△ 6.97	12.84	△ 7.15	0.2
	21	田 原 本 町	△ 7.48	14.03	△ 5.53	△ 2.0
	22	広 陵 町	△ 7.51	14.00	△ 6.60	△ 0.9
	23	葛 城 市	△ 8.14	13.61	△ 3.63	△ 4.5
	24	下 市 町	△ 8.34	15.00	△ 7.41	△ 0.9
	25	三 郷 町	△ 8.61	15.00	△ 8.49	△ 0.1
	26	吉 野 町	△ 9.01	15.00	△ 10.82	1.8
	27	五 條 市	△ 9.08	13.11	△ 5.85	△ 3.2
	28	野 迫 川 村	△ 11.19	15.00	△ 8.17	△ 3.0
	29	斑 鳩 町	△ 11.39	14.70	△ 12.46	1.1
	30	御 杖 村	△ 12.76	15.00	△ 6.01	△ 6.8
	31	川 上 村	△ 12.95	15.00	△ 14.56	1.6
	32	高 取 町	△ 13.07	15.00	△ 0.04	△ 13.0
	33	天 川 村	△ 16.45	15.00	△ 16.49	0.0
	34	明 日 香 村	△ 17.99	15.00	△ 15.74	△ 2.3
	35	安 堵 町	△ 18.68	15.00	△ 5.27	△ 13.4
	36	上 北 山 村	△ 19.25	15.00	△ 18.39	△ 0.9
	37	曾 爾 村	△ 23.20	15.00	△ 14.05	△ 9.2
	38	黒 滝 村	△ 24.09	15.00	△ 7.46	△ 16.6
	39	東 吉 野 村	△ 35.00	15.00	△ 29.05	△ 6.0

※比率は赤字団体が「+」、黒字団体が「△」になります。

②家族全体の家計の状況を調べるには？・・・連結実質赤字比率

家族全体の家計の赤字の大きさ
(連結実質赤字比率)

＝ (夫婦の家計＋同居する親の家計) ÷ 夫婦の給料
(家族全体の収入－家族全体の支出) ÷ (標準財政規模)



県内市町村の連結実質赤字比率の状況

連結赤字市町村は無し

・対前年度比 △2団体(㊦2団体) ・全国 ㊦17団体(㊦31団体)

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「連結実質赤字比率」

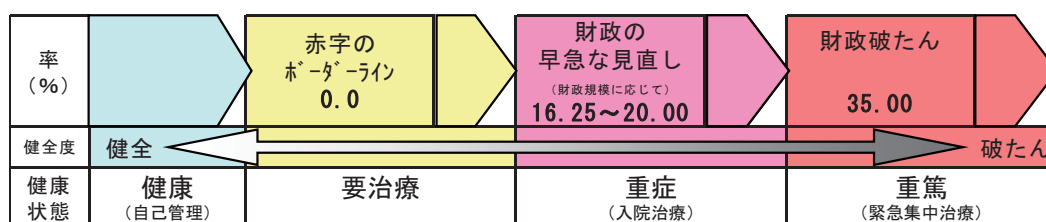
平成22年度決算では、重症(早期健全化基準以上)及び要治療(赤字決算)になった団体はありません(P14)。

●平成22年度 連結赤字団体該当無し ㊦2団体

(全国:17団体 ㊦31団体)

○平成21年度決算において赤字であった御所市及び大和高田市は、平成22年度決算で連結累積赤字を解消しました。

連結実質赤字比率を健康状態であらわすと



早期健全化基準

県内市町村の連結実質赤字比率のワースト順位

(単位：％、位)

健康状態	県内 順位	市町村名	22年度		21年度	対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	早期健全化 基準	比率(B)	
要改善 ↑ 健康 黒字 ↓ 良好	1	御 所 市	△ 1.84	18.74	7.27	△ 9.1
	2	大 和 高 田 市	△ 3.39	17.84	4.38	△ 7.8
	3	奈 良 市	△ 3.72	16.25	△ 0.77	△ 3.0
	4	山 添 村	△ 5.97	20.00	△ 7.75	1.8
	5	下 北 山 村	△ 6.79	20.00	△ 5.61	△ 1.2
	6	十 津 川 村	△ 6.80	20.00	△ 8.02	1.2
	7	檀 原 市	△ 7.62	17.23	△ 5.38	△ 2.2
	8	河 合 町	△ 7.99	20.00	△ 9.24	1.3
	9	斑 鳩 町	△ 9.02	19.70	△ 8.90	△ 0.1
	10	宇 陀 市	△ 11.04	17.94	△ 10.20	△ 0.8
	11	平 群 町	△ 12.83	20.00	△ 4.53	△ 8.3
	12	御 杖 村	△ 14.00	20.00	△ 7.10	△ 6.9
	13	桜 井 市	△ 14.39	18.02	△ 8.75	△ 5.6
	14	五 條 市	△ 15.87	18.11	△ 14.69	△ 1.2
	15	田 原 本 町	△ 16.15	19.03	△ 13.94	△ 2.2
	16	川 上 村	△ 16.51	20.00	△ 19.50	3.0
	17	野 迫 川 村	△ 17.08	20.00	△ 12.31	△ 4.8
	18	天 川 村	△ 17.44	20.00	△ 17.58	0.1
	19	三 郷 町	△ 18.99	20.00	△ 16.57	△ 2.4
	20	王 寺 町	△ 19.81	19.98	△ 16.28	△ 3.5
	21	生 駒 市	△ 19.91	17.34	△ 17.20	△ 2.7
	22	上 牧 町	△ 20.03	19.87	△ 14.06	△ 6.0
	23	下 市 町	△ 20.70	20.00	△ 20.95	0.3
	24	曾 爾 村	△ 21.48	20.00	△ 10.86	△ 10.6
	25	天 理 市	△ 22.40	17.84	△ 21.56	△ 0.8
	26	香 芝 市	△ 22.42	17.84	△ 12.72	△ 9.7
	27	上 北 山 村	△ 22.94	20.00	△ 20.94	△ 2.0
	28	吉 野 町	△ 23.34	20.00	△ 24.69	1.4
	29	川 西 町	△ 23.97	20.00	△ 26.08	2.1
	30	高 取 町	△ 24.09	20.00	△ 9.62	△ 14.5
	31	黒 滝 村	△ 24.25	20.00	△ 8.91	△ 15.3
	32	大 和 郡 山 市	△ 27.00	17.57	△ 20.44	△ 6.6
	33	三 宅 町	△ 28.59	20.00	△ 23.47	△ 5.1
	34	安 堵 町	△ 30.84	20.00	△ 18.71	△ 12.1
	35	広 陵 町	△ 30.93	19.00	△ 23.25	△ 7.7
	36	明 日 香 村	△ 35.52	20.00	△ 31.82	△ 3.7
	37	葛 城 市	△ 37.44	18.61	△ 31.16	△ 6.3
	38	大 淀 町	△ 42.58	20.00	△ 42.39	△ 0.2
	39	東 吉 野 村	△ 43.13	20.00	△ 37.82	△ 5.3

※比率は赤字団体が「+」、黒字団体が「△」になります。
※平成22年度において、赤字の団体はありません。

3. 借入れや保証の健全度を測るポイントは？

ここでは、①毎年のローン返済（公債費）が重すぎないか、また②ローンの残高（地方債残高）や保証（公社などへの債務保証）などの負債の総額が大きすぎないかがポイントになります。ここでも比較のために、夫婦の給料を基準にしています。

借入れの健全度を測るポイント！

市町村の各会計の決算額をみてもわかりづらい要因は…

- ・ 財政規模の大小（例：奈良市と野迫川村）
- ・ 一部事務組合への負担金に借入金の返済負担分が含まれている
- ・ 公社や第3セクターの負債の状況がわかりにくい 等

そこで

財政指標①②を活用する

- ・ 財政規模や支出のバラツキがなくなる
- ・ 全市町村の会計区分が統一される

①ローン返済は
重すぎないか

実質公債費比率
(夫婦と親と子ども)

P16、17へ

②ローン残高や保証額が
大きすぎないか

将来負担比率
(夫婦と親と子どもと親類)

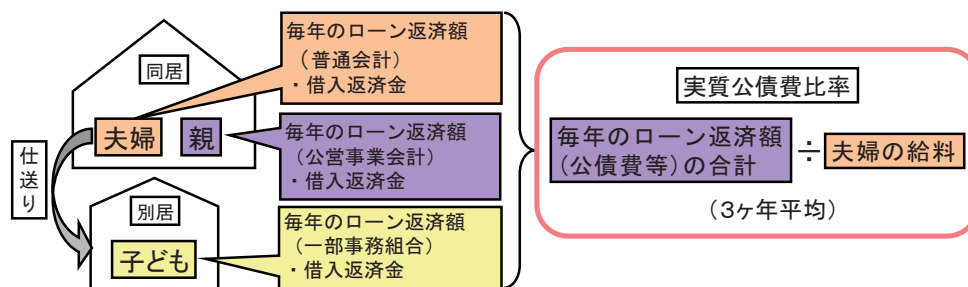
P18、19へ

各財政指標の健全度を健康状態であらわすと

財政指標	健全 ←————→ 破たん			
健康状態	健康 自己管理	要治療	重症 入院治療	重篤 緊急集中治療
実質公債費比率		18.0%	25.0%	35.0%
将来負担支比率		79.7%	350.0%	

3-1. 毎年のローン返済が重すぎないか(実質公債費比率)

夫婦と同居する親(市町村の全ての会計)だけでなく、別居の子ども(一部事務組合等)にも借入れがある場合は、夫婦と同居する親のローン返済額(公債費)と別居の子どもへの仕送りの一部(一部事務組合等への負担金)が返済額全体となります。返済額の負担度合いを表す「実質公債費比率」が大きいほど、ローン返済に困っていることになります。



県内市町村の実質公債費比率の状況

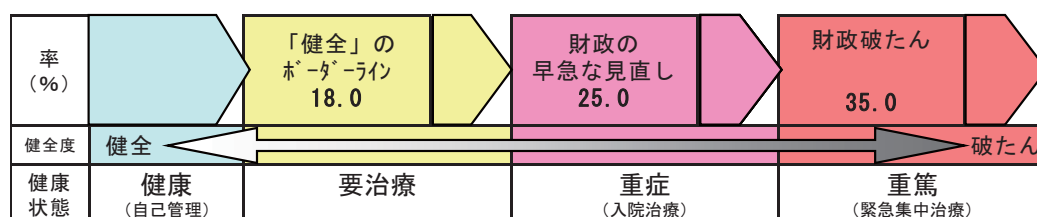
重症(25.0%以上)の市町村は無し

・対前年度比 △2団体(㊶2団体) ・全国 ㊶4団体(㊶12団体)

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「実質公債費比率」

- 平成22年度決算では、上牧町と御所市が早期健全化基準(25.0%)を下回り、早期健全化基準以上の団体はありません(P17)。
○上牧町は22年度決算で財政健全化団体を脱却しました。御所市は、実質赤字額があるため、引き続き財政健全化団体となっています。
- 地方債許可基準18.0%以上(要治療)…11団体(前年度から3団体減)

実質公債費比率を健康状態であらわすと



早期健全化基準

県内市町村の実質公債費比率のワースト順位

(単位：％、位)

健康状態	県内 順位	市町村名	22年度		21年度		対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	
要治療 18%以上	1	上牧町	23.8	1,737	26.8	1,743	△ 3.0
	2	香芝市	22.6	1,731	22.2	1,697	0.4
	3	御所市	22.4	1,726	25.6	1,739	△ 3.2
	4	宇陀市	21.1	1,704	21.3	1,672	△ 0.2
	5	山添村	20.6	1,689	23.0	1,722	△ 2.4
	5	曾爾村	20.6	1,689	20.5	1,642	0.1
	7	明日香村	19.0	1,636	20.8	1,655	△ 1.8
	7	下北山村	19.0	1,636	18.9	1,530	0.1
	9	川西町	18.9	1,630	21.1	1,663	△ 2.2
	10	東吉野村	18.1	1,586	20.6	1,645	△ 2.5
	11	広陵町	18.0	1,578	20.3	1,631	△ 2.3
健康 18%未満	12	河合町	17.9	1,569	17.1	1,356	0.8
	13	五條市	17.0	1,493	18.9	1,530	△ 1.9
	14	王寺町	16.9	1,487	17.9	1,437	△ 1.0
	15	大和高田市	16.3	1,418	18.3	1,480	△ 2.0
	15	下市町	16.3	1,418	16.8	1,311	△ 0.5
	17	野迫川村	15.8	1,350	18.4	1,487	△ 2.6
	18	三宅町	15.1	1,271	17.3	1,379	△ 2.2
	19	高取町	14.7	1,226	16.7	1,301	△ 2.0
	20	上北山村	14.5	1,181	15.5	1,152	△ 1.0
	21	奈良市	14.1	1,117	13.9	929	0.2
	22	御杖村	13.9	1,084	14.9	1,069	△ 1.0
	23	黒滝村	13.7	1,060	16.5	1,279	△ 2.8
	24	桜井市	13.3	993	15.4	1,140	△ 2.1
	25	吉野町	12.5	873	13.6	896	△ 1.1
	25	天川村	12.5	873	13.1	816	△ 0.6
	27	平群町	12.1	808	11.7	599	0.4
	28	大和郡山市	11.8	764	12.1	660	△ 0.3
	29	葛城市	11.5	708	12.9	782	△ 1.4
	30	田原本町	11.4	691	12.1	660	△ 0.7
	31	安堵町	11.2	660	12.5	721	△ 1.3
	32	橿原市	10.6	566	11.5	580	△ 0.9
	33	天理市	9.8	483	9.5	373	0.3
	34	大淀町	8.8	371	10.0	419	△ 1.2
	35	川上村	8.6	354	8.0	258	0.6
	36	三郷町	8.4	337	10.2	432	△ 1.8
	37	斑鳩町	7.7	290	8.7	306	△ 1.0
	38	十津川村	7.1	241	8.2	269	△ 1.1
	39	生駒市	4.5	107	5.0	105	△ 0.5
全国平均・市区町村数			10.5	1,746	11.2	1,750	△ 0.7

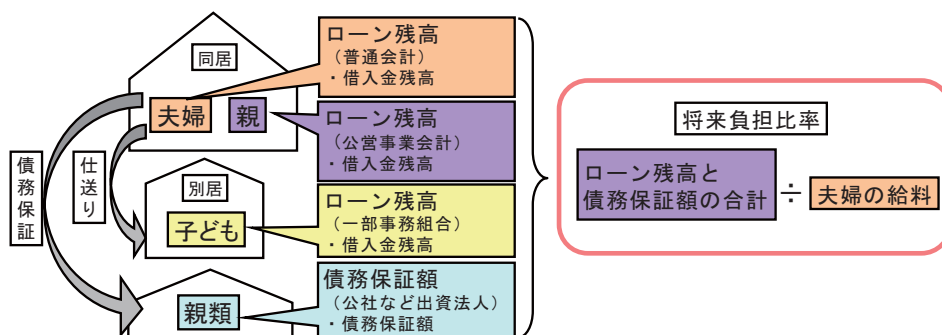
※早期健全化基準は25%です。

※比率は、3ヶ年の単年度比率を単純平均したものです。

※平成22年度の全国市区町村数については、平成23年度中に合併した団体のうち4団体の健全化判断比率が、新市として算定されたため減少しています。

3-2.ローン残高や保証額は大きすぎないか(将来負担比率)

借入れや保証などのいわゆる負債総額としては、夫婦(普通会計)と親(公営事業会計)と別居の子ども(一部事務組合等)のローン残高(地方債残高)に加え、親類(市町村が出資する法人等)への債務保証額を合算することが必要です。負債の規模を表す「将来負担比率」が大きいほど、夫婦の家計(普通会計)にとって苦しい状況が長く続くことがわかります。



県内市町村の将来負担比率の状況

県内市町村平均 133.1%

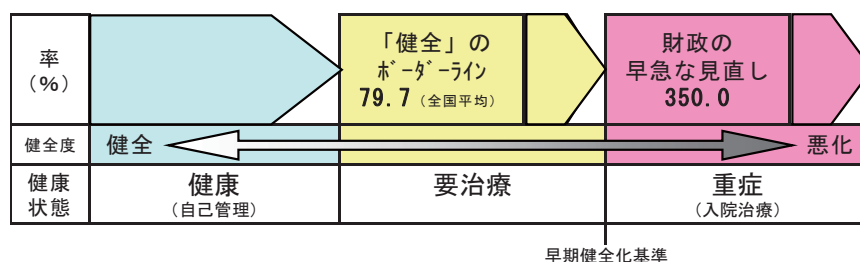
・対前年度比 △15.8ポイント改善 ・全国 ②79.7%

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「将来負担比率」

- 平成22年度決算では、重症(早期健全化基準以上)になった団体はありません(P19)。
- 全国平均以上(要治療)の県内市町村…20団体

これは、県内市町村数の半数以上にあたり、全国的には総数の約4割です。将来的な財政負担の大きい市町村が、県内には多いということになります。

将来負担比率を健康状態であらわすと



県内市町村の将来負担比率のワースト順位

(単位：％、位)

健康状態	県内順位	市町村名	22年度		21年度		対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	
要治療 全国平均 以上	1	河合町	257.7	1,738	271.8	1,739	△ 14.1
	2	上牧町	245.9	1,734	273.0	1,740	△ 27.1
	3	香芝市	231.0	1,724	263.2	1,735	△ 32.2
	4	御所市	229.4	1,722	259.3	1,732	△ 29.9
	5	平群町	225.2	1,721	249.5	1,727	△ 24.3
	6	奈良市	209.4	1,708	213.9	1,700	△ 4.5
	7	高取町	209.1	1,707	224.0	1,708	△ 14.9
	8	宇陀市	198.1	1,698	227.8	1,711	△ 29.7
	9	大和郡山市	174.2	1,666	191.9	1,654	△ 17.7
	10	五條市	170.1	1,653	203.9	1,684	△ 33.8
	11	広陵町	133.1	1,522	149.7	1,496	△ 16.6
	12	桜井市	126.8	1,491	151.2	1,505	△ 24.4
	13	大和高田市	122.0	1,448	151.7	1,509	△ 29.7
	14	下市町	120.2	1,440	143.1	1,466	△ 22.9
	15	橿原市	108.4	1,330	122.3	1,298	△ 13.9
	16	吉野町	96.7	1,231	129.9	1,372	△ 33.2
	17	天理市	95.1	1,216	88.1	933	7.0
	18	三宅町	93.4	1,202	102.9	1,103	△ 9.5
	19	東吉野村	85.6	1,112	125.3	1,327	△ 39.7
	20	葛城市	84.0	1,093	94.2	997	△ 10.2
健康 全国平均 以下	21	田原本町	66.3	896	81.8	878	△ 15.5
	22	明日香村	57.8	796	86.3	913	△ 28.5
	23	天川村	56.8	789	82.6	887	△ 25.8
	24	曾爾村	40.8	637	72.7	778	△ 31.9
	25	上北山村	37.1	595	61.5	663	△ 24.4
	26	山添村	32.1	546	70.8	755	△ 38.7
	27	川西町	26.4	498	43.4	499	△ 17.0
	28	野迫川村	17.6	426	62.4	671	△ 44.8
	29	斑鳩町	15.2	409	15.7	325	△ 0.5
	30	王寺町	14.0	401	43.1	495	△ 29.1
	31	黒滝村	9.6	378	25.4	380	△ 15.8
	32	三郷町	△ 0.4	-	15.4	322	△ 15.8
	33	安堵町	△ 6.8	-	9.7	299	△ 16.5
	34	大淀町	△ 10.0	-	5.5	283	△ 15.5
	35	生駒市	△ 31.5	-	△ 20.6	-	△ 10.9
	36	十津川村	△ 33.3	-	△ 52.6	-	19.3
	37	御杖村	△ 35.2	-	△ 1.2	-	△ 34.0
	38	下北山村	△ 69.3	-	△ 50.9	-	△ 18.4
	39	川上村	△ 100.8	-	△ 101.1	-	0.3
県内市町村平均			133.1		148.9		△ 15.8
全国平均・市区町村数			79.7	1,746	92.8	1,750	△ 13.1

※早期健全化基準は350％です。

※平成22年度の全国市区町村数については、平成23年度中に合併した団体のうち4団体の健全化判断比率が、新市として算定されたため減少しています。

4. 市町村税収の状況は？

県内市町村平均徴収率 91.5%

- ・全国第31位
- ・対前年度比 △0.2 ポイント改善
- ・全国 ㊟93.3%

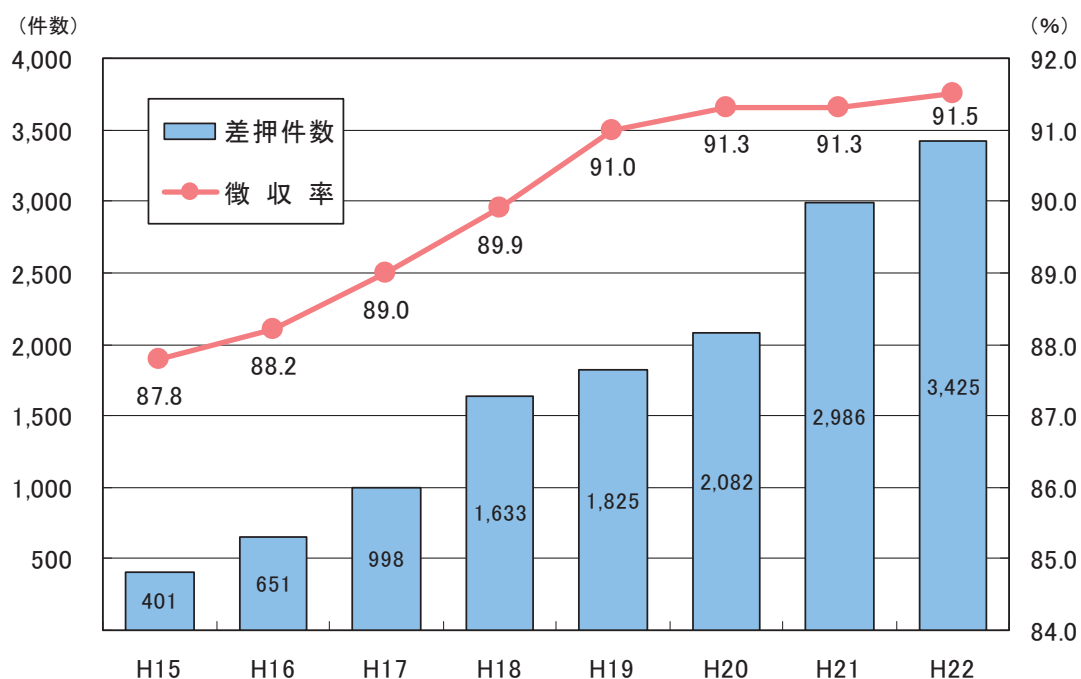
※「徴収率」とは、「収入額：実際に徴収した金額」を「調定額：徴収することを決定した金額」で割ったものです。

県内市町村の市町村税収の状況を見るポイントとしては、市町村税の徴収率があります。

財政状況を改善するためには、市町村税の徴収率を引き上げ、財源を確保することが重要です。

そのためには、資力がありながら税金を滞納する悪質な滞納者に対して、差押え等による毅然とした滞納処分を実施することが必要です。

差押件数と徴収率の推移



県内市町村の市町村税徴収率の推移(H18~22)

(単位：％)

18年度 [全国：41位]		19年度 [全国：38位]		20年度 [全国：37位]		21年度 [全国：33位]		22年度 [全国：31位]	
平 群 町	80.2	平 群 町	81.7	御 所 市	83.8	平 群 町	84.9	平 群 町	85.6
御 所 市	81.6	御 所 市	84.5	平 群 町	84.9	御 所 市	85.6	宇 陀 市	88.6
曾 爾 村	87.0	曾 爾 村	88.2	野 迫 川 村	87.2	曾 爾 村	88.0	曾 爾 村	89.6
高 取 町	87.2	上 牧 町	88.4	東 吉 野 村	87.6	宇 陀 市	88.0	大 和 高 田 市	89.9
宇 陀 市	87.4	東 吉 野 村	88.5	曾 爾 村	88.5	大 和 高 田 市	88.9	生 駒 市	90.1
葛 城 市	87.4	野 迫 川 村	88.6	上 牧 町	88.7	東 吉 野 村	89.3	下 市 町	90.2
上 牧 町	87.9	宇 陀 市	88.8	宇 陀 市	88.7	上 牧 町	89.8	田 原 本 町	90.2
田 原 本 町	87.9	田 原 本 町	89.4	生 駒 市	89.7	生 駒 市	89.8	御 所 市	90.5
東 吉 野 村	88.2	生 駒 市	89.6	大 和 高 田 市	89.9	田 原 本 町	90.2	上 牧 町	90.7
生 駒 市	88.3	大 和 高 田 市	90.3	田 原 本 町	90.1	大 淀 町	90.6	大 淀 町	90.8
三 宅 町	88.6	香 芝 市	90.4	奈 良 市	90.8	野 迫 川 村	90.8	天 理 市	90.8
河 合 町	89.0	奈 良 市	90.6	天 理 市	91.0	奈 良 市	90.9	奈 良 市	90.9
香 芝 市	89.6	葛 城 市	90.9	大 淀 町	91.2	下 市 町	91.0	安 堵 町	91.0
安 堵 町	89.7	県 平 均	91.0	県 平 均	91.3	県 平 均	91.3	五 條 市	91.0
三 郷 町	89.7	大 淀 町	91.2	桜 井 市	91.4	五 條 市	91.3	三 郷 町	91.1
県 平 均	89.9	高 取 町	91.2	葛 城 市	91.5	天 理 市	91.3	東 吉 野 村	91.2
大 淀 町	90.0	桜 井 市	91.6	下 市 町	91.6	安 堵 町	91.6	県 平 均	91.5
大 和 高 田 市	90.1	安 堵 町	91.7	香 芝 市	91.7	香 芝 市	91.6	香 芝 市	92.0
奈 良 市	90.1	三 郷 町	91.8	五 條 市	92.0	桜 井 市	91.7	桜 井 市	92.0
野 迫 川 村	90.5	天 理 市	91.8	三 宅 町	92.2	三 郷 町	92.0	吉 野 町	92.7
桜 井 市	90.5	大 和 郡 山 市	91.9	三 郷 町	92.2	大 和 郡 山 市	92.1	大 和 郡 山 市	92.7
大 和 郡 山 市	90.7	三 宅 町	92.1	大 和 郡 山 市	92.2	葛 城 市	92.3	葛 城 市	92.9
下 市 町	90.9	下 市 町	92.2	安 堵 町	92.8	天 川 村	92.9	檀 原 市	92.9
五 條 市	91.1	五 條 市	92.2	広 陵 町	93.0	檀 原 市	93.0	天 川 村	93.0
天 理 市	91.1	広 陵 町	92.3	檀 原 市	93.1	御 杖 村	93.2	御 杖 村	93.1
広 陵 町	91.3	河 合 町	92.7	全 国 平 均	93.6	三 宅 町	93.2	全 国 平 均	93.3
檀 原 市	91.8	檀 原 市	92.7	河 合 町	93.6	全 国 平 均	93.3	広 陵 町	93.7
吉 野 町	93.2	全 国 平 均	93.7	黒 滝 村	93.8	広 陵 町	93.3	高 取 町	94.2
全 国 平 均	93.3	黒 滝 村	94.3	御 杖 村	93.8	吉 野 町	93.5	河 合 町	94.3
黒 滝 村	93.5	天 川 村	94.5	高 取 町	94.0	河 合 町	93.9	三 宅 町	94.3
斑 鳩 町	93.5	吉 野 町	94.5	吉 野 町	94.3	高 取 町	94.9	川 西 町	94.9
御 杖 村	93.9	御 杖 村	94.6	天 川 村	94.8	斑 鳩 町	95.3	斑 鳩 町	95.5
天 川 村	94.0	斑 鳩 町	94.6	斑 鳩 町	95.5	川 西 町	95.5	十 津 川 村	95.6
川 西 町	94.1	川 西 町	95.1	川 西 町	95.6	黒 滝 村	95.9	野 迫 川 村	95.9
王 寺 町	95.8	川 上 村	96.8	川 上 村	96.2	十 津 川 村	96.1	黒 滝 村	96.3
山 添 村	96.1	十 津 川 村	96.8	十 津 川 村	96.3	川 上 村	96.5	川 上 村	96.5
十 津 川 村	96.6	山 添 村	97.2	山 添 村	97.1	山 添 村	97.3	山 添 村	97.8
川 上 村	97.1	王 寺 町	97.4	王 寺 町	97.8	王 寺 町	98.1	王 寺 町	98.1
明日 香 村	98.6	上 北 山 村	98.9	上 北 山 村	98.9	上 北 山 村	98.5	明日 香 村	98.2
下 北 山 村	99.4	明日 香 村	99.2	明日 香 村	99.0	明日 香 村	98.8	上 北 山 村	98.7
上 北 山 村	99.5	下 北 山 村	99.6	下 北 山 村	99.5	下 北 山 村	99.3	下 北 山 村	99.1

【出典：地方財政状況調査】

5. 財政状況が悪い市町村はどうなるの？

北海道夕張市の破綻を契機として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が創設されました。財政指標のうち、「健全化判断比率」について「早期健全化基準」以上となった市町村[※]は、早期に財政の健全化を図るため、「財政健全化計画」を策定することになります。市町村はこの計画に基づき、収入（歳入）の確保や支出（歳出）の削減を図り、財政の健全化に努めることとなります。

市町村の行政サービスは住民生活に特に密接しており、財政状況が悪くなると、きめ細かな行政サービスができなくなるなど、日常生活にも影響が出てくる可能性があります。

※平成20年度決算において、御所市と上牧町が財政健全化団体となりました。上牧町は計画に基づいた行財政改革の取り組みの結果、平成22年度決算で財政健全化団体から脱却、御所市も赤字解消まであと一歩の状況となるなど、財政健全化に向けた取り組みが進んでいます。

お住まいの市町村がこのような状況にならないようにするには、市町村の財政状況に関心をもつことが大切です。

市町村が公開している財政情報についてぜひ関心をもって見てください。

各市町村は、皆さんに分かりやすく情報を開示することを目的として「財政比較分析表」や「歳出比較分析表」等を作成し、ホームページで公表しています。同様に県でも県内市町村の財政状況について比較・分析を加えて公表し、またこのパンフレットについてもホームページに掲載しています。





あなたのまちの財政状況（平成22年度決算）

平成24年3月 奈良県地域振興部市町村振興課 発行

〒630-8501 奈良市登大路町30

電話:0742-27-8421 / FAX:0742-23-8439

<http://www.pref.nara.jp/dd.aspx?menuid=2013.htm>